

議会だより

No.210

平成29年1月27日

発行：愛知県大口町議会

特集 「議員の定数と報酬」をテーマに意見交換会を開催	2～5
12月補正 子育て施設がさらに充実	6～7
一般質問 町オリジナルの婚姻届・出生届の作成を	14
議長が一般質問 3年間の鈴木町政を振り返って	17
議会だよりアンケート結果	19

参加者の声

特集 意見交換会



町内の有識者が入る第三者機関に、議会の考えを提出し、審議の上、答申書を出してもらう手続きはどうか。

議員は非常勤。報酬を上げることは理解を得られない。仕事量は増えるが、委員会を兼任し、定数を減らしてはどうか。

定数や報酬は、近隣の自治体議会との比較でなく、大口町議会独自で決めればいい。

「報酬を上げて若い人を」。耳ざわりはいいが、現役時代に活躍し、知識・経験が豊富な方が議員になってもいいのでは。

議員として立候補する・しないは、地域で考えること。「行政区の数＝議員の定数」は違うのでは。

報酬を上げれば、本当に立候補者は増えるのか。魅力のある議員とは何なのか。



報酬は「引き下げるべき」ということではなく、議員は、その収入に見合った以上の仕事をしてもらいたい。

「議員はボランティア」という考え方で、定数や報酬の問題を改革してはどうか。



※議会は、現時点で議員の定数と報酬に対し、統一的な考え方を示す段階にありません。今後、さまざまな方法で検討し、来年度中に結論を出す予定です。

議会は、今回の意見交換会の後、下記の会議により検討を進めています（12月末までの開催状況）。

11月15日（火）議会全員協議会
22日（火）議会運営委員会

12月 6日（火）総務建設常任委員会
9日（金）正副委員長会議
27日（火）議会全員協議会

平成28年11月12日(土)、住民の皆さんと意見交換会を開催しました。

議員の説明後、参加者から「議員の定数と報酬」に関する意見をいただきました。いただいた主な意見やアンケート結果を紹介します。

ご意見等、ありがとうございました。

開催場所・時間・参加人数

豊田学共	午後2時～3時	10人
下小口学共	午後6時～7時30分	16人

なお、意見交換のテーマ以外で出された町に伝えるべき意見・要望は、議会では対応を調査・検討し、町に伝えました。



下小口学共



豊田学共

議会運営委員会では、議長から議員の定数と報酬に関する諮問を受け、住民の皆さんの意見をお聞きしながら、現在の定数(15人)と報酬(29万2千円～)のあり方を検討しています。

諮問書

1 諮問事項

- (1) 大口町議会議員定数について
- (2) 大口町議会議員報酬について

2 答申時期

答申は、それぞれの各種手続き、住民への周知なども含め次期大口町議会議員選挙(2019年4月)に適用できるようご配慮願いたい。

3 検討の手順

- (1) 議員間の議論、検討
- (2) 地域住民、町内の各種団体からの意見聴取

4 検討の内容

(1) 議員定数について

議員定数は削減すればよいというものでも、多ければよいというものでもなく、いろいろな要件の中でバランスのとれた定数であることが期待されると思われる。

- ア 会議体としての議会の能率的な運営ができる定数であること。
- イ 多数の住民が推す優れた人材が選出される定数であること。

- ウ 町の組織体として、すなわち職員との調和が保たれる定数であること。
- エ 民意が反映できる定数であること。
- オ 議会の権能を発揮できる組織体であること。
 - ・ 議事機関としての権能—議論のできる定数であること。
 - ・ 立法機関としての権能—専門的な権能が発揮できる定数であること。
 - ・ 監視機関としての権能—チェック機関として適正である定数であること。

(2) 議員報酬について

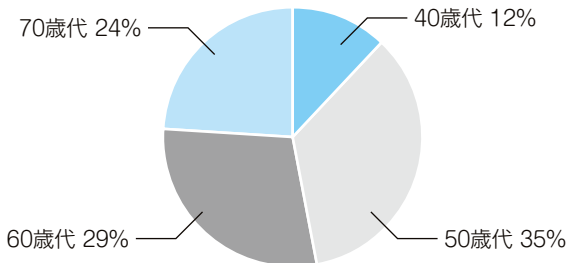
- ア 子育て世代が政治参加できる環境であること。
- イ 常勤ではないものの、それに近い活動をせざるを得ないこと。
- ウ 町民に理解されること。
- エ 議員としての道が開けること。
- オ 公選職とのバランスがとれていること。

アンケート結果

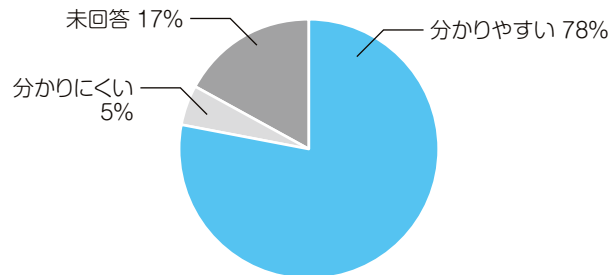
特集 意見交換会

意見交換会の会場でお願いしたアンケート結果をお知らせします

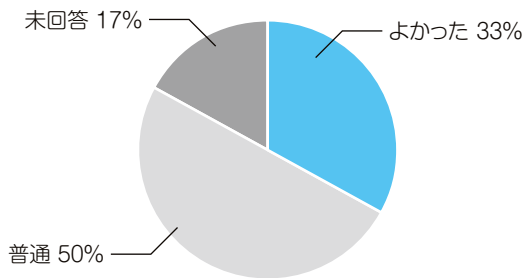
参加者の年齢



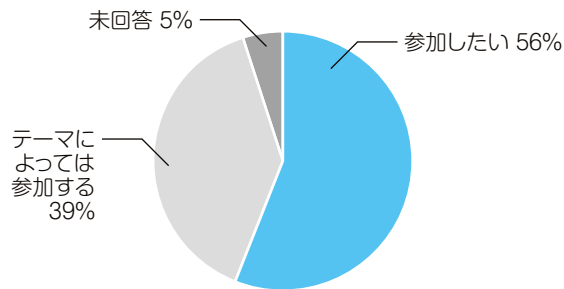
資料「他市町村の定数・報酬」



感想



今後の参加



- ・定数を減らした場合、現在の仕事ができるのか。増やした場合、新たな仕事として何ができるのか。
- ・定数は、少ないに越したことはない。報酬も税金のため、住民としては少ない方がいいと思う。
- ・「議員の定数が多い」、「報酬が高い」とは、一住民が簡単には言えない。
- ・年々、環境の変化で懸案事項は増加し、多岐にわたっている。未来志向で、より力を合わせられたい。
- ・議会もまちづくりと地域づくりの一つのため、住みやすくしたいなら、自分も考えを改めなくては。
- ・定数や報酬の根拠が分かってよかった。定数や報酬の多少は、ものさしとするものによって変わる。
- ・すぐに結論を出さず、互いの意見を聞き、意見を交換し、議論することが大切だと思う。
- ・足が不自由な方もみえると思うので、各学共等に加え、健康文化センターで開催してほしい。
- ・議会を傍聴したことがない。仕事を休んでまで行こうという気持ちにはなれない。その程度の関心。
- ・住民の皆さんが、議会や議員について、多くを知らない。

自由意見もたくさんいただきました。ご協力ありがとうございました。

その他意見

意見交換会でいただきました「その他の意見・要望」への対応等をお知らせします。

柿野橋の拡張

柿野橋の道路幅が狭い。

道路幅員を約1m、南側に拡幅してほしい。



12月6日、総務建設常任委員会が現地確認

国道41号トンネル付近

北小学校の東側
・トンネル内が暗いので明るく。
・周辺にごみがあるときがある。「ごみ捨て禁止」の看板を目立つように。



12月6日、総務建設常任委員会が現地確認



1月10日、議長が町長に報告

政務活動費

議会に対する政務活動費の支出に問題はないか。

過去にさかのぼって調査を。

【議会】

昨年度分より町ホームページで政務活動費の支出状況を詳細に公開しています。

政務活動費の過去の支出状況は、町の情報公開条例による公開請求で確認できます。

さらに充実

平成28年度 一般会計補正予算

南保育園 未満児室の手洗い設置工事



北保育園仮設園舎の手洗いを再利用

問 当初予算129万6千円を減額するが、どのように設置するのか。

答 手洗いは北保育園の仮園舎で使用していたものを再利用し、諸経費を節約するため、北児童クラブの増築工事に組み入れて施工する。

条例の制定・改正

道路占用料条例

道路の占用許可を受けた者から徴収する占用料の額を改正する。

問 この改正で、占用料全体ではいくら増額となるか。

答 約20万円程度の増額を見込んでいる。

問 縁日などで一時的に設ける露店が約27%も値上げになる一方、電柱等は約1%の値上げ。この違いは。

答 占用料の改定となる算定の根拠が異なるため。

地区計画等の案の作成手続に関する条例

地区計画等の案の掲示方法及び意見の提出方法を定める。

問 どれだけの面積の開発で、地区計画が必要となるか。

答 5ha以上20ha未満の開発について地区計画を作ることができる。

農業委員会の選挙による委員の定数条例

農業委員の選出方法の変更（公選制から議会の同意を得て町長が任命）等により、条例の全部を改正する。

問 青年・女性の積極的な活用の考えは。

答 推薦・公募をお願いするときに、配慮を求めている。

障がい福祉調整会議設置条例

障がい者等の生活の質の向上、差別を解消するための取組み等を効果的・円滑に行う組織を定める。

問 相談支援専門員の人数は足りているか。

答 福祉こども課、地域包括支援センターで相談にあっているが、人数は充足している。

28年度一般会計補正予算

北児童クラブ増築工事

問 今後の工事スケジュールは。

答 北保育園の仮園舎を再利用。今年度中に基礎工事まで完了。来年4月以降、建築工事を開始し、夏休みから運用予定。

質疑あれこれ

議案質疑、総務建設及び文教福祉の各常任委員会での主な質疑を掲載します。

子育て施設が

中保育園 未満児室の改修工事



未満児室の外観



12月14日 工事中の室内には重機が

問 国庫補助金は、当初予算276万5千円。補正予算で1786万3千円を増額。大幅増になった理由は。

答 当初予算時は設計前だったため、「増改築修繕」の補助率で計上。設計後、その改修内容が補助率の高い「大規模修繕」として認められたため、増額補正した。

12月議会で決まった主な内容

12月定例会を、11月25日から12月20日までの26日間の会期で開催しました。

○町提出(18議案) 道路占用料条例の改正、地区計画等の案の作成手続に関する条例の制定、農業委員会の選挙による委員の定数条例の全部改正、平成28年度の補正予算など

採決の結果

【賛成多数で可決】 道路占用料条例の改正

【全会一致で可決】 地区計画等の案の作成手続に関する条例の制定、農業委員会の選挙による委員の定数条例の全部改正、平成28年度一般会計補正予算など17議案

○請願及び陳情

採決の結果

【採 択】 請願1件及び陳情1件 【不採 択】 請願9件

【聞き置く】 陳情5件

議員提出議案

【全会一致】 1議案

(関連記事 P8～9)

一般質問では、6議員が町政全般にわたり質問しました。

賛否の分かれた議案 他の17議案は全員賛成で可決

○=賛成 ×=反対

議案名	議員名													結果	
	船戸	吉田	岡	酒井	鈴木	大竹	伊藤	柘植	齊木	丹羽(孝)	宮田	丹羽(勉)	木野		倉知
道路占用料条例の一部改正	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

(議長は裁決に加わらないため空白)

賛否が分かれた1議案の 討論要旨は左のとおりです

反対討論

吉田 正

公共性があると言われる大企業関連の電柱や電話柱、ガス管などの値上げ率は約1%。一方、小規模事業者関連の看板類の値上げ率は約2%。公共性がある事業者も営利団体。大企業にえこひいきするような改正は改悪としか言いようがない。町内の小規模事業者の営業促進のため、値上げは中止すべき。

道路占用料条例の一部改正

賛成討論

鈴木義彦

今回の占用料の改正は、道路法施行令の見直し、愛知県の条例の一部改正に合わせたもの。占用料は、町の実情に合った改正内容と考える。

12月議会に提出された10件の請願、6件の陳情は、所管の常任委員会にて審査しました。

【請願】

障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める請願書
(全員賛成で採択)

後期高齢者の保険料軽減特例の恒久化を求める請願書
(賛成少数で不採択)

福祉医療助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を求める請願書
(賛成少数で不採択)

18歳年度末までの医療費無料制度創設を求める請願書
(賛成少数で不採択)

介護保険制度の改善を求める請願書
(賛成少数で不採択)

若者も高齢者も安心の年金制度の確立を求める請願書
(賛成少数で不採択)

社会保障制度の国民負担増や給付削減をやめ、国の予算で改善を求める請願書
(賛成少数で不採択)

介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書
(賛成少数で不採択)

福祉医療制度を守り、拡充を求める請願書
(賛成少数で不採択)

市町村国民健康保険への事業費補助金復活を求める請願書
(賛成少数で不採択)

請願者
愛知自治体キャラバン実行委員会
代表者 森合光夫
紹介議員
吉田 正

【陳情】

・天皇の皇位継承が安定的に継承される為の陳情
(聞き置)

陳情者
今枝正晴

・「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める陳情
(聞き置)

陳情者

愛知県医療介護福祉労働組合連合会
執行委員長 西野ルミ子

・安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情書
(聞き置)

陳情者

愛知県医療介護福祉労働組合連合会
執行委員長 西野ルミ子

・地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める陳情書
(聞き置)

陳情者

愛知県社会保障推進協議会

議長 森谷光夫

愛知県医療介護福祉労働組合連合会

執行委員長 西野ルミ子

・沖縄県議会の「米軍北部訓練場ヘリパッド建設に関する意見書」を支持する意見書提出に関する陳情 (聞き置)

陳情者

岩間和枝

・商工会を中心とした地域商工業振興に対する支援体制の拡充
(全員賛成で採択)

陳情者

愛知県商工会連合会

会長 森田哲夫

大口町商工会

会長 宮地計年

他3名

議員提出議案

1 議案を全員賛成で可決し、議会から国の機関などへ意見書を送付しました。

・障がい児者の生活基盤を確保するための支援整備を求める意見書

委員会構成等の変更

大島保憲議員の逝去に伴い、欠員となった委員長等を次のとおり決定しました。

文教福祉常任委員会

委員長 柘植 満

各種委員会委員

国民健康保険運営協議会

酒井正宗



議会運営委員会

副委員長 倉知敏美

一部事務組合議員

愛北広域事務組合

木野春徳



※文教福祉常任委員会及び議会運営委員会の委員は、定数に対し1人欠員。

大島保憲議員追悼

大島保憲議員（72）が、平成28年11月7日に逝去されました。

町議会は、12月定例会初日（11月25日）の冒頭、黙とうを捧げ、哀悼の意を表すとともに、議会を代表し、丹羽勉議長がお別れの言葉を述べました。

ここに大島保憲議員のありし日の面影を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

大口町議会議員一同

一 役職歴 一

- 平成23年4月 町議会議員に初当選
- 平成25年5月 文教福祉常任委員会副委員長
- 平成27年5月 副議長
- 平成28年5月 文教福祉常任委員会委員長
議会運営委員会副委員長



議員控室にて談笑する大島議員



平成28年7月27日 いじめ防止対策で大津市を視察
大津市議会議場にて

「お別れの言葉」

大口町議会を代表し、謹んでお別れの言葉を申し上げます。

大島保憲議員、あなたの逝去の報に接し、驚きを隠し得ませんでした。一週間ほどご迷惑をおかけしますとおっしゃった

ばかりじゃないですか。そのわずか一週間後に、こんな悲報を聞くことを誰が想像できたことでしょうか。

自分のことは二の次にして、毎月開催する常任委員会協議会や間近に迫った町民の皆さんとの意見交換会の準備にも先陣を切って取り組まれてい

たにも関わらず、意見交換会にさえ出席していただくことが叶いませんでした。さぞ無念であったでしょう。

員の活動を、大島家の皆さんを見守ってください。これまで、あなたと交流できたことに感謝申し上げます。

あなたの遺徳を偲び、遺訓を守り、ご遺志を引き継ぎ、大口町発展のため尽力をしまいる所存であります。

平成28年11月25日

名残は尽きませんが、大口町の発展を、同僚議員長 丹羽 勉



お別れの言葉を述べる丹羽議長

ここが聞きたい!

一般質問

町政を問う

6議員が質問

「一般質問」とは、行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

伊藤 浩	空き家発生の抑制対策を …………… P12 新教育委員会制度 新教育長としての決意や抱負は
吉田 正	中小企業・小規模企業振興条例の制定を …………… P13 国保税を引き下げよ
柘植 満	民生委員・児童委員の活動の見直しを …………… P14 町オリジナルの婚姻届・出生届の作成を
宮田和美	花いっぱい運動を …………… P15 免許証の返納 運転経歴証明書の手数料の補助を
岡 孝夫	町地域防災計画 毎年検討され、必要時は修正されているか …………… P16 感震ブレーカーの普及に向けて
丹羽 勉	3年間の鈴木町政を振り返って …………… P17 若い世代の定住と雇用創出を

一般質問

追 跡

1年前の一般質問から

あれから どうなった?

議会だよりでは、1年前の一般質問から2題を選び、あれからどうなったかを調査しました。

観光ボランティアの育成を

問 観光客に歴史を紹介するボランティアガイドを育成できないか。

答 町民、まちづくり団体の皆さんに対する出張講座等で普及啓発活動を行い、地域の方々と一緒に検討していきたい。

28年6月から8月まで、堀尾氏やボランティアガイドに関する生涯学習講座を開講。その後受講者は月1回集まり、勉強会や現地でガイドの練習を積み重ねている。

質問者の満足度

 **がんばれ**

住民の方々の取組みは誇らしく、嬉しく思います。今後も観光振興・住民協働での松江市・大口町の発展を期待します。

ごみの分別

問 まちのカレンダー等で分別指示がされているが、見るものによって異なる。

答 分別方法は定着してきているが、月に数回問合せがあり、判断に迷われている現状もある。誰にでも分かりやすくしていきたい。

現状、町HPに「50音別ごみ分別早見表」を掲載中。また、町広報に「環境だより」コーナーを新設。本年6～9月号、12月号で周知し、地区集積場の掲示板も分別啓発動画を基に修正した。

質問者の満足度

 **まあまあ**

50音別ごみ分別早見表にはポイントもあり、分かりやすい。冊子化が望まれる。

こうなった

平成27年12月定例会

船戸光夫

岡 孝夫



伊藤 浩

空き家発生抑制対策を

部長 来年度 空き家等対策計画策定を検討



防犯・防災上、周辺に影響も
(出典:国土交通省HP)

伊藤 空き家を解体する
ときの短所は。

産業建設部長 費用が高額
になり、住

宅用地特例が適用されな
い。更地にした場合は、
空き家があった従前より
約4・2倍固定資産税が
増える。

伊藤 空き家の総物件数
は。また、多い地
区はどこか。

産業建設部長 自治組織や
区の情報に

よると109件。多い地
区は、下小口(20件)や
上小口(19件)である。

伊藤 近隣自治体の空き
家発生抑制対策
を実施したらどうか。

産業建設部長 来年度、犬
山市や小牧

市の取組みも参考にしな
がら、空き家等対策計画
の策定を予定している。
今後は、その計画に基づ
き対策を検討していく。

新教育委員会制度

新教育長としての決意や抱負は

教育長 学力の底上げとモラルの向上を

伊藤 新教育委員会制度
が導入された理由

総務部長 地方教育行政
の責任の明確化、

迅速な危機管理体制の構
築、首長との連携、地方
に対する国の関与の見直
し等、従来の制度で不十
分だったことを改善する
ため。

伊藤 教育委員会議や総
合教育会議の開催

総務部長 教育委員会議
は毎月月末に、

総合教育会議は随時開催
する。これらは開催日の
1週間前をめぐり、ホー
ムページの新着情報で確
認できる。

伊藤 新教育長としての
決意や抱負は。

教育長 新制度が導入さ
れた理由の経緯

を十分認識し、教育行政
を進めたい。教育は人づ
くりであり、学校教育は
生涯教育の基盤。「家庭
学習スタンダード」や「大
口学びスタイル」を着実
に実践し学力の底上げを
図り、県と一体の「モラ
ル向上キャンペーン」な
ど、徳育にも力を入れ地
域の子どもへの関心を高
めたい。
教育に関する大綱は、
町長と教育委員会が共有
し、その理念を羅針盤と
していきたい。

新教育委員会制度の概要(H27.4.1施行)

- 教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」の設置
- 教育長へのチェック機能の強化と会議の透明化
- すべての地方自治体に「総合教育会議」を設置
- 教育に関する「大綱」を首長が策定

文部科学省HPより抜粋

中小企業・小規模企業振興条例の制定を

副町長 理念よりも施策を充実させる



吉田 正

吉田 犬山市は、平成30年度に条例を制定すると聞いている。

産業建設部長 町内事業所の9割以上

を占める中小企業・小規模企業の活発な活動と事業展開の後押しは、町全体を盛り上げる原動力になる。

商工会が開催した9地区での説明会で町補助制度を説明し、利用を増やす努力をしている。

吉田

中小企業や小規模企業に補助制度をPRするだけでなく、仕事をまわすルールとして、条例制定が必要。

副町長

町の補助制度をまとめた「企業支援ガイド」は、商工会から中小企業や信用保証協会の方々と議論する中で作成した経緯がある。理念条例制定よりも、施策ではないかと考えている。

国保税を引き下げよ

参事 国保は2倍の医療費がかかっている

吉田 国保が高いことは、9月議会の質問で明らか。引き下げるべきでは。

健康福祉部参事

国保が高いのは加入者に高齢・低所得の方が多く、他の医療制度の2倍、医療費がかかっていること、他の医療制度は被扶養者が増えても保険料が増えないこと。

吉田

一宮市は18歳（被扶養者）までの均等割を3割減額している。町も見習って。

健康福祉部参事

地方から国の負担による高校生以下の均等割の軽減措置導入の要望を提出。社会保障制度改革の中で議論されることになっている。

所得500万円	国保	協会けんぽ	共済組合
負担率	9.79%	8.11%	6.97%
年間保険料	489,300円	405,693円	348,390円

※家族構成「40歳代の夫婦・10歳代の子ども2人」、世帯収入「夫の給与のみ」、「固定資産なし」の場合での比較。

健康福祉部参事

医療費は、生活習慣病と言われる疾病により年々増加。協会けんぽと意見交換しながら、連携に向け、何ができるか勉強していきたい。

他に、「障害児者の生活基盤となる地域生活支援拠点の整備は」、「災害の教訓を残すために、町史の編纂を」について、一般質問をしました。



柘植 満

民生委員・児童委員の活動の見直しを 部長 各委員と相談しながら検討していきたい

町オリジナルの婚姻届・出生届の作成を 参事 婚姻届の作成を検討

柘植 民生委員・児童委員の選任が困難になってきている。問題点は。

健康福祉部長

各委員の活動は、赤

ちゃんから高齢者までの幅広い年齢層や障がいのある方が対象。少子高齢化の進展等に伴い、活動内容が多岐にわたっていることが考えられる。

柘植 活動が多様で忙しく、大変との声もある。見直しを考えているか。

健康福祉部長

各委員の自主活動を尊

重した上で、皆さんと相談しながら、各種事業の見直しの検討を進めていく。

柘植 地域の事業も多く、出費も多い。現状に合わせて活動費を上げ

健康福祉部長

交通費等の実費相当分

として、毎月、県と町から各4850円の活動費を支援。また、民生委員・児童委員協議会の運営費として、町から年間約23万円を補助している。現在の活動内容を勘案し、町としては適切な金額と考える。

柘植 結婚・出産は、人生の大きな節目であり、生涯の思い出。全国的にも、オリジナルの届出用紙を作成する自治体が増えている。町オリジナルの婚姻届を作成し

健康福祉部参事

婚姻届の提出の際、戸

籍担当の窓口付近で記念撮影される光景を見かける。町としては、「結婚という人生の節目を迎えられる方々を祝福し、愛着を持って定住していただく」、そんな想いを込めたオリジナルの婚姻届の作成を、先進事例を参考に検討したい。

柘植 同様に、町オリジナルの出生届の作成は。

健康福祉部参事

出生届には、出生届には、

病院等で証明が必要。窓口へ出生届を取りにみえる方はほとんどないため、現在の届出用紙で対応していきたい。



幸せの象徴のイルカをモチーフに(出典:沼津市HP)

花いっぱい運動を

部長 **地域の活動を広報で紹介、全町的な広がりを期待**

富 現在、町ではこれといった目玉がない。花いっぱい運動を。中学校東側の町のメイン道路（柏森大口線）の花壇を復活できないか。

産業建設部長 以前、生徒が環境美化活動の一環で花を植えていたが、カリキュラムの変更、交通安全上などの問題で継続が難しくなっている。地域から「自転車の通行帯に」との声も

あるため、環境美化・安全安心の両面から検討していきたい。

富 北地域自治組織に、外坪と仲沖に美しい花壇を作っていたいた。全町に展開できないか。

産業建設部長 地域のそうした活動をした活動を

モデルとして広報等で紹介。全町に広がるよう期待したい。



宮田和美



仲沖のふれあいかた

富 ハートフル大口に苗を育ててもらおうなど協力してもらい、「鉢運動」で美しい町にしては。

産業建設部長 町は緑化推進事業として、ふれあいまつり

で毎年約200本の苗木を配布し、緑化運動を進めている。鉢運動は、各家庭で進めていただけたらと考える。

免許証の返納 運転経歴証明書の手数料の補助を

部長 **補助は考えていない**



運転経歴証明書は、運転免許証と同じサイズのカード型（出典：愛知県警察HP）

富 全国的に高齢者の交通事故が多発。運転免許証返納の話題が報道されている。免許証を自主返納される人に対し、運転経歴証明書手数料1000円を補助できないか。

地域協働部長 免許証の返納は強制ではなく、個人の考えを尊重する観点から、手数料を補助する考えはない。ただ、返納制度の周知・理解は重要。住民に啓発し、交通安全に努めていく。

富 商工会と連携し、買い物の際に提示すれば割引してもらえるような運転経歴証明書の活用は。

地域協働部長 愛知県の「高許自主返納サポーター制度」では、指定店舗で証明書を提示すると、割引の特典が受けられる。商工会にサポーター加入を提案したい。

富 返納者に、町コミュニティバスの回数券を支給しては。

地域協働部長 コミュニティバスは、高齢者の安全な移動手段としても重要な財産。高齢者の暮らしの足の確保に向け、アンケート調査等の研究に含めて検討する。



岡 孝夫

町地域防災計画

毎年検討され、必要時は修正されているか

部長 近隣市町が直したからと本町も直す状況ではない

岡 近隣市町は、指定公共機関の追加等に伴い計画を修正している。

本町の計画は前回改正より1年9か月が経過するが、この間、計画の見直し・修正は必要ではなかったのか。

地域協働部長

近隣市町とは幾分計画のつくりが違うところがある。単純によそが直したから本町も直す状況ではない。

岡 避難所ごとの避難所運営マニュアルはあるか。

地域協働部長

基準となるマニュアルはあるが、避難所ごとの避難所運営マニュアルはない。今後、職員・地域・施設関係者等で訓練を重ねる中で、各避難所に応じた避難所運営マニュアルに取り組んでいく。



平成27年3月に修正された本町の地域防災計画
(本町HPで参照できます)

岡 避難(場)所は、計画・防災マップ・ホームページ等では7か所、広報おおくち8月号等では中央公民館を含め、8か所になっているが。

地域協働部長

計画の見直しはできていないが、中央公民館の工事が終わったので、中央公民館を追加した。

岡

各避難所への多量の仮設トイレ需要対応とは。

地域協働部長

仮設トイレとしてマンホールトイレの整備を進めている。簡易トイレも備蓄している。今後はリース等も検討していく。

感震ブレイカーの普及に向けて 部長 補助を検討していく

岡 国も感震ブレイカーの設置を勧告・推奨するようになってきている。本町の感震ブレイカー設置率は5・5%で、

岡 被災地では多様な困難なことが発生する。人は訓練以上のことはできないし、発災後にできることは限られている。

普及啓発・設置費補助金交付等の考えは。地震時の二次災害対策として有効と考えている。家具の転倒防止への補助と併せて検討していく。

地域協働部長

地震時の二次災害対策として有効と考えている。家具の転倒防止への補助と併せて検討していく。

地震による電気火災対策を!

感震ブレイカーが効果的です!

東日本大震災における本震による火災全111件のうち、原因が特定されたものが108件。そのうち過半数が電気関係の出火でした。

電気関係 (58件)	54%
その他 (50件)	46%

詳しくは裏面をご覧ください▶

感震ブレイカーの啓発チラシ
(出典:経済産業省HP)

3年間の鈴木町政を振り返って

町長 難しいかじ取りだが、一つひとつ形にしていきたい



丹羽 勉

丹羽 鈴木町政が3年を経過した。その感想は。

町長

町長への就任は、自分の人生の転換期。不交付団体としての

自負と、それを維持する難しいかじ取りを実感。

町は、現状に満足することなく、企業と同様、

変わり続けなければならぬ。やり残していることもたくさんあるが、住民、議会の皆さんと話をしながら、一つひとつ形にしていきたい。

丹羽 町長が目指す、「50年後の大町」とは。

町長

先人の努力により、多くの企業が立地して今の大口町がある。

一方で、企業は「本業を忘れた者は必ずつぶれる」とも言われる。

我々の根幹にある農民の精神を忘れず、住民の笑顔が絶えない、子どもがたくさんいるまち、世界に貢献してくれる多くの人材を輩出するまちなればと願う。

若い世代の定住と雇用創出を

副町長 総合戦略により、広い視野で支援対策を検討

丹羽

町の人口形態の特徴として、男性は

20代が増え、30代になると減少する傾向にある。

若い世代の定住対策は、

副町長

町外で暮らす子どもが親の近くで暮らすことは、若い世代の定住促進につながり、

子育てや介護の面でも効果が期待できる。現時点

で具体策はないが、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で、住宅建築等の助成制度など、広い視野で支援施策を検討していきたい。

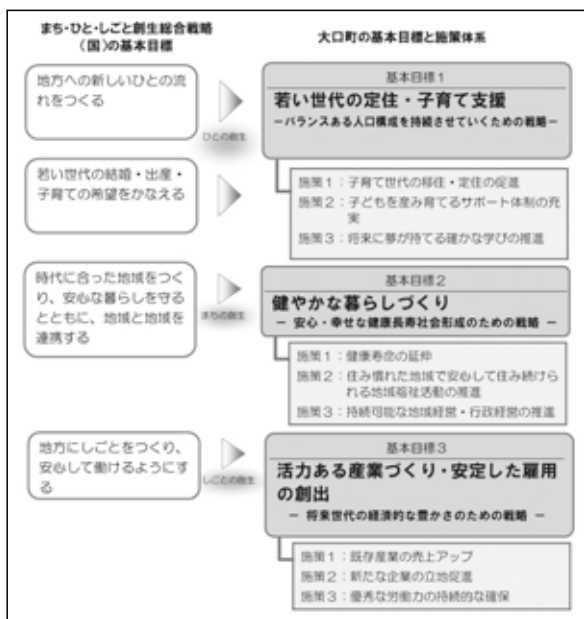
子育てや介護の面でも効果が期待できる。現時点で具体策はないが、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で、住宅建築等の助成制度など、広い視野で支援施策を検討していきたい。

丹羽

雇用を創出する企業誘致施策の現状と今後の見通しは。

副町長

今回のトヨタ自動車部品センターの企業誘致は、工業団地を造成して企業に土地を提供する方式ではなく、「オーダーメイド方式」として、立地条件などを、土地所有者、企業、行政の三者が一体となり検討して取り組んだ結果、短期間で進めることができた。現在も、企業と町が直接、話をする中で企業立地を進めている。



「若い世代の定住・子育て支援」を基本目標に設定（「まち・ひと・しごと創生総合戦略」より）

ごちそうさまでした！ ～素直・無邪気・元気・笑い～



和気あいあいと給食タイムも盛り上がってま～す！南小5年1組

12月8日、南小で給食試食会が行われ、文教福祉常任委員と町長はじめ町関係者が給食を試食しました。



この日は、ロールパン、牛乳、スクールコロッケ、コーンポタージュ、かぶのサラダで705kcal。1食あたり118円（町が半額を負担）



野菜もしっかり食べましょう！

試食会の目的は、本町の未来を担う子どもたちと歓談しながら給食を楽しむことです。

私がおじゃました5年1組は、素直で無邪気で元気がいっぱい。溢れる笑顔に包まれながら、子どもたちと話をしながらの給食はとてもおいしく、幸せなひと時を過ごすことができました。

(岡 孝大)

北保育園の 建設現場を視察

議会は、北保育園の建設工事の進行状況を調査するため、定期的に現場を視察しています。

12月20日現在、北保育園の第2期工事は、予定された工程どおり、順調に進められています。



東側から見た新園舎の外観

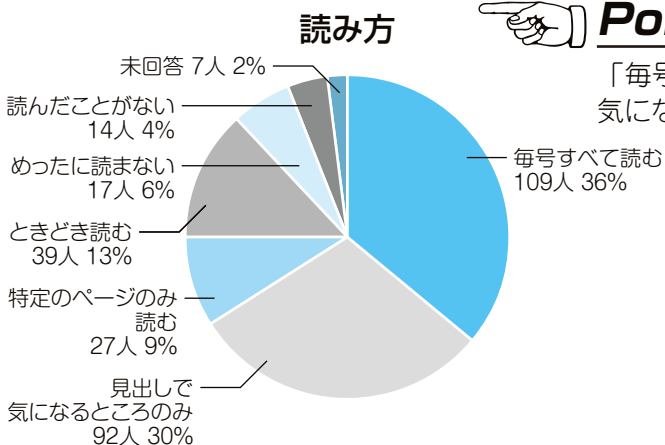
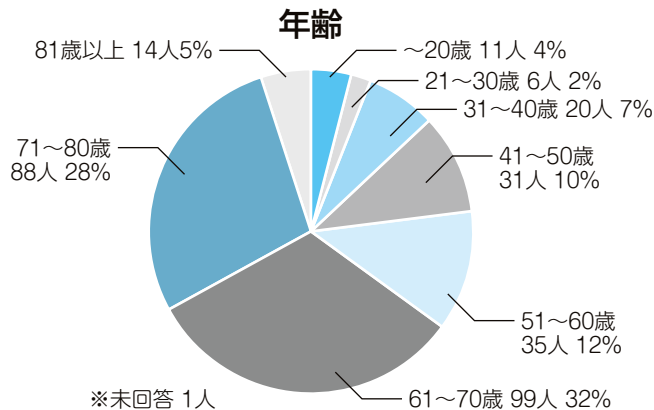
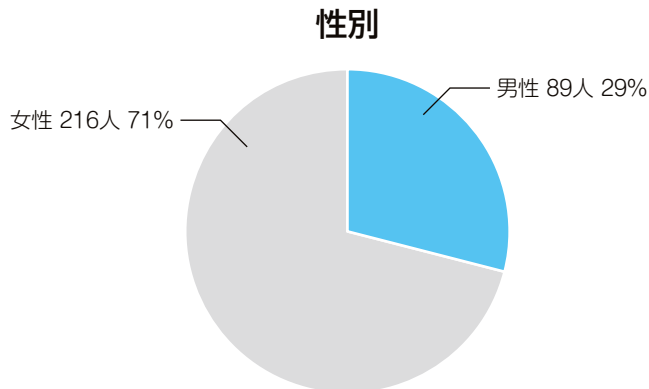


廊下などはまだ施工されていない

基礎や土台、柱など、骨組みに当たる部分の工事を完了し、屋根には瓦が葺かれました。

議会だより アンケート結果

11月5日(土)のふれあいまつりで、「議会だより」のアンケートを実施しました。
305人の方にご協力いただきました。
ありがとうございました。
今回は、その結果を報告します。



Point① どのくらい読まれているのか?

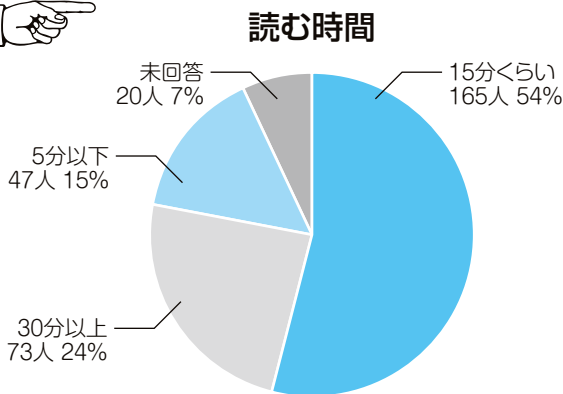
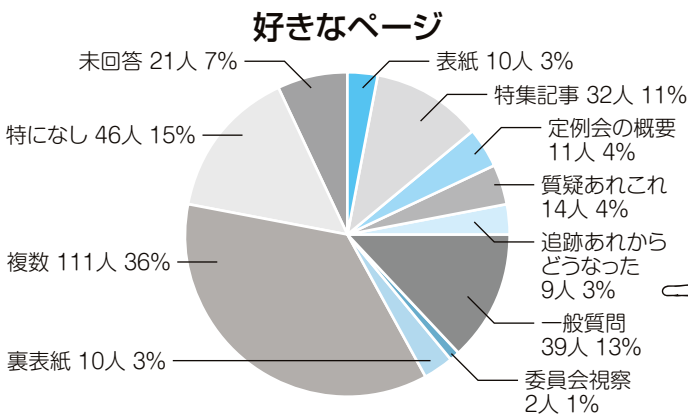
「毎号すべて読む」と答えた方が最も多く、次いで「見出しで気になるところのみ」の順になっています。



アンケートの様子(議会ブースにて)

Point② 読む時間は?

「15分くらい」の方が約6割を占めています。
昨年度のアンケートでも、同様の結果が表れています。



Point③ 興味のある記事は?

「一般質問」と答えた方が最も多く、次いで「特集記事」「質疑あれこれ」の順になっています。

アンケートの結果では、「記事の内容や言葉をやさしく、分かりやすく」「一般質問は町民に近い目線で」といった要望をいただきました。今後も、読者にとってより分かりやすく、興味を持って読んでいただける紙面づくりを目指します。

議会広報常任委員一同

まちの 元気者

大口剣道協会

代表 神谷社長 教士7段
教室のモットー「和」

♪ 現在の会員数は？

小中学生15人、一般35人の50人です。うち10人は女性会員です。
剣道に興味がある方、募集中！です。

♪ 会員相互の和を重んじています

会員は9歳から70代と幅広いですが、厳しい稽古の中でも楽しく行っています。
1つ要望ですが、大口町に武道場を作ってほしいです。



練習前に、全員集合！！



取材当日の練習風景

♪ 教室開催日は？

剣道7段の先生3人を筆頭に、毎週木・土曜日の午後7時から9時まで、西小学校の体育館で練習しています。

取材を終えて

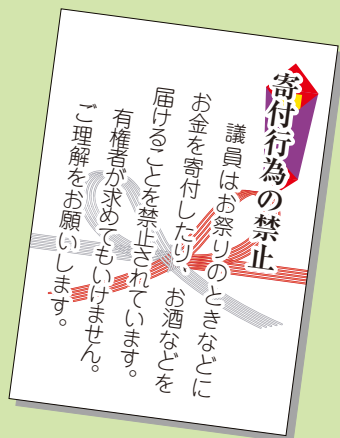
「礼に始まり礼に終わる」、凛とした練習を見学させていただき、ありがとうございました。
(酒井正宗)

表紙の写真

準備OK!

今日、まちの代表ランナーの一人として、この場所に立てる喜びと緊張感。

さあ、結果を恐れず、支えてくれるみんなの声援を胸に。



会議録が閲覧できます

<http://www.town.oguchi.aichi.jp/2741.htm>



みなさん議会傍聴に 来てください

3月定例会予定

- 3月 2日(木) 提案説明
- 3月 6日(月) 質疑
- 3月 7日(火) 質疑・委員会付託
- 3月 9日(木) 総務建設常任委員会
- 3月13日(月) 文教福祉常任委員会
- 3月15日(水) 一般質問
- 3月17日(金) 一般質問
- 3月23日(木) 討論・採決

手続きは簡単です！
役場3階で住所と名前を書くだけ

議長 丹羽 勉
副議長 丹羽 孝
委員 岡 孝夫
委員 酒井 正
委員 吉田 義
委員 鈴木 彦
委員 伊藤 浩
委員 丹羽 孝